

関係機関等との連携・協力

■ 全国の特別支援学校、小学校、中学校、高等学校等との連携・協力

NISEでは、全国の特別支援学校や幼稚園、小学校、中学校、高等学校、教育委員会、特別支援教育センター、学校関係者等を研究協力機関・研究協力者として原則公募により依頼し、研究課題等に関する情報・資料提供、指導・助言、共同開発・研究、開発した指導法・試作の実践、教材開発等の協力を得ることにより、特別支援教育に関する実際の・実践的な研究の円滑な推進を図っています。

また、関係学校長会等が実施する調査研究への協力を行うほか、保護者団体等である全国特別支援教育推進連盟と連携・協力し、文部科学省と三者共催で全国特別支援教育振興協議会を開催しています。

お問い合わせ→

総務部総務企画課

E-mail: somu@nise.go.jp

■ 筑波大学附属久里浜特別支援学校との相互協力

筑波大学附属久里浜特別支援学校は、昭和48年9月に、国立特殊教育総合研究所（当時）が行う実際の研究に協力する目的で、重度・重複障害児を対象に教育を行う学校として設置された国立久里浜養護学校を母体としています。その後、平成16年4月1日の国立大学等の法人化に伴い、筑波大学に移管され、知的障害を併せ有する自閉症児を対象に教育を行う、幼稚部及び小学部を置く学校として再出発しました。

同校では、自閉症のある幼児児童に対して、幼稚園及び小学校に準ずる教育を行うとともに、障害による困難を改善するための教育を行っています。また、筑波大学における幼児児童の教育に関する研究や、学生の教育実習の協力等が進められています。

なお、平成16年7月、NISEと筑波大学との間で教育研究交流に係る協定を締結し、NISEと同校は相互協力の下に様々な取組を推進してきました。



筑波大学附属久里浜特別支援学校

詳しくはこちら→

筑波大学附属久里浜特別支援学校ウェブサイト

<http://www.kurihama.tsukuba.ac.jp/>

■ 諸外国の大学・研究機関等との国際連携・協力

NISEでは、我が国の特別支援教育の取組や研究成果を海外に情報発信するとともに、諸外国の障害のある子どもの教育に関する政策等の状況を組織的に収集し、その調査結果を特総研ジャーナル等を通じて公表しています。

また、海外の大学・研究機関との交流協定の締結、研究職員の海外派遣、外国人研究者等の受入を通じて、特別支援教育の研究における国際交流を行っています。



フランス国立特別支援教育高等研究所との交流協定調印式

◆ 海外の大学・研究機関との交流協定の締結

海外の大学・研究機関と交流協定を締結し、研究集会等への参加、特別支援教育に関する情報交換、研究者間の交流を行っています。

【研究交流協定締結機関】

- ・韓国国立特殊教育院（平成7年11月締結）
- ・ケルン大学人間科学部（平成10年11月締結）
- ・フランス国立特別支援教育高等研究所（平成27年3月締結）



米国から来訪した研究者による講演会

◆ 研究職員の海外派遣

国際会議への参加・発表や状況調査等のため、研究職員を海外に派遣し、研究交流を行っています。

また、NISEの研究職員が文部科学省や外務省の海外教育担当者とともに海外の日本人学校等を訪問し、障害のある子どもの教育に関する情報提供を行っています。



インドネシア教育文化省視察団の受入

平成26年度 研究職員の海外派遣者数：延べ24名

◆ 外国人研究者等の受入

外国人研究者等をNISEに受け入れ、研究交流を行っています。

また、独立行政法人国際協力機構（JICA）等の依頼により、海外の教育行政担当者や学校教員等の視察・研修を受け入れています。



アフリカ諸国からのJICA研修員の受入

平成26年度 外国人研究者等の受入数：89名

お問い合わせ→

総務部総務企画課（広報国際係）

E-mail: a-koho@nise.go.jp